



立
白
を
降
ら
せ
る
時

雨
が
祝
福
の

GRANBLUE FANTAGY fanbook
Percival/Gran
ADULT ONLY



街も霧が
深かったけど

森の中は
一層すごいね

昼間なのに
すぐ先が真っ白で
全然見えないや…

依頼主さんの
懐中時計
見つかるでしょうか…

うーん…

時計を奪ってった
魔物の巣を
見つけられたは
いいけど

めちやくちやに
荒らされてて

もぬけの殻に
なっちまってたしなあ…

ごめんね…

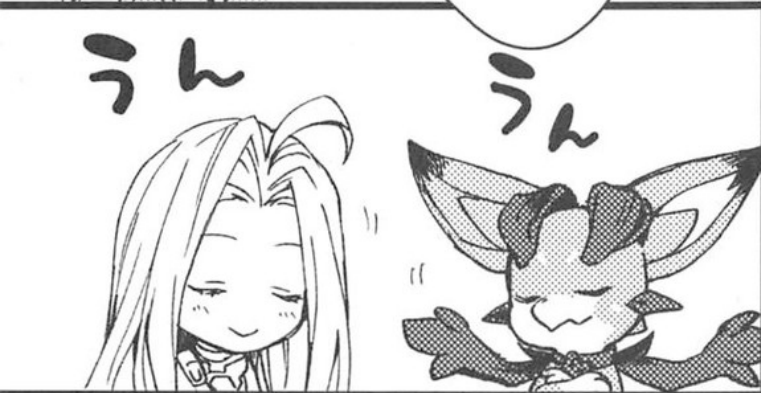
んあ？

巣を見つけるのが
もっと早ければ

もしかしたらあの場で
見つけられたかも…

せっかく僕達を
頼りにしてくれたのに…

しゃん…



この森

色々不思議な
気配やにおいが
混ざって漂ってて

カマロも上手く
追いかけられない
みたいだ

正直な所
このままじゃ
見つかる気が
しねえぜ…

唯一の手がかりも
なくなっちゃった
事だしなあ

で

でも

シェロさんに頼るくらい
大切な物でしょうし

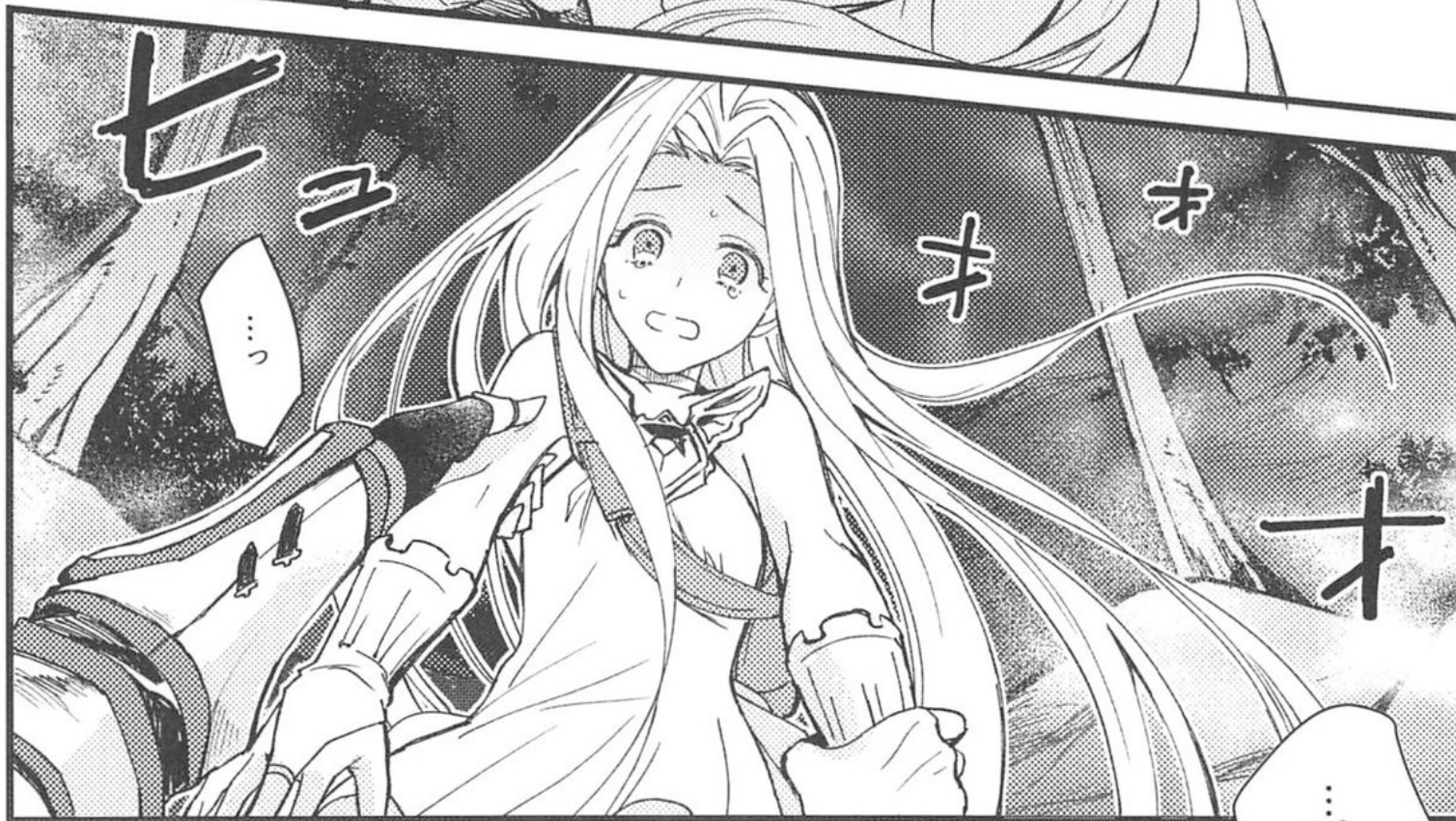
出来れば見つけて
あげたいで

しやああ

ルリア!

えっ







：霧のせいで
視界も足元も
あまりよくないな



すみません

ありがとう
ございました…

へな
へな

怪我
してない？

はい
大丈夫です

よかった…



頻度は低い
霧が晴れる日も
あると聞く

ふん
ふん

依頼主には悪いが
一度出直す方が
良いのではないか

うん
そうだね

一度戻って
依頼主さんに
状況説明しようか…



うん

この状態で
闇雲に探しても
身体も心も
疲れるだろうし

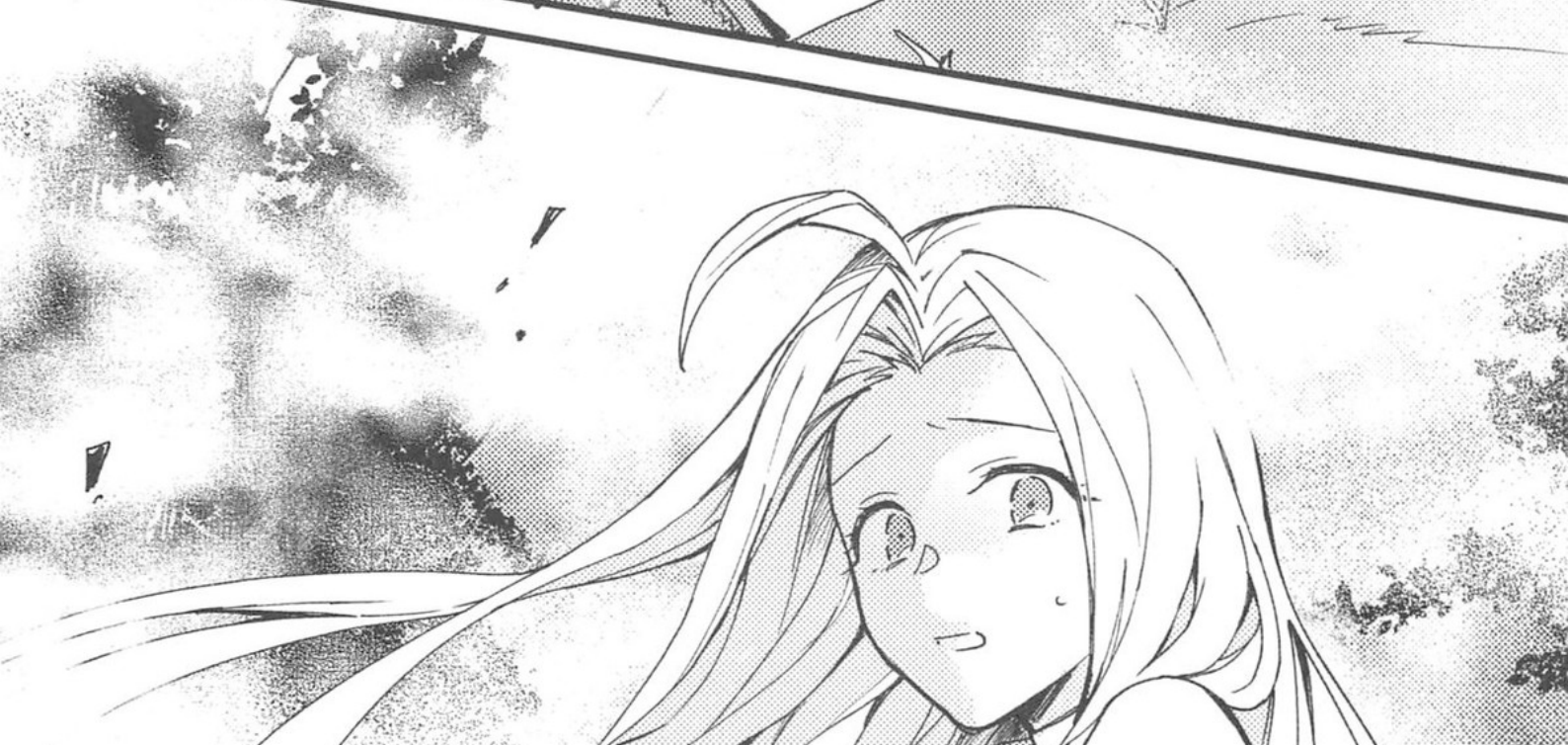
は

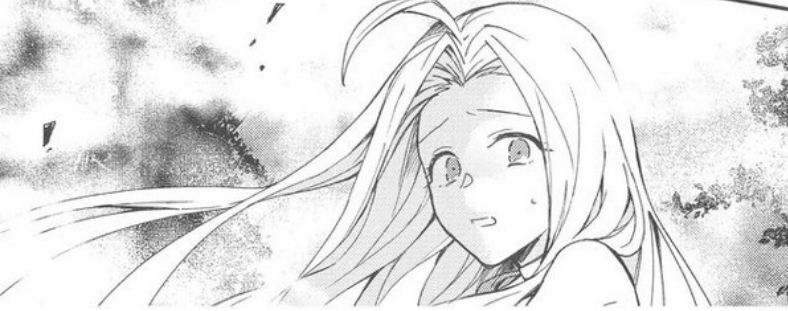
す

ありがたう
しやうござい
ます

いざと言う時
動けなくなるのは
避けたいね…







グラン!

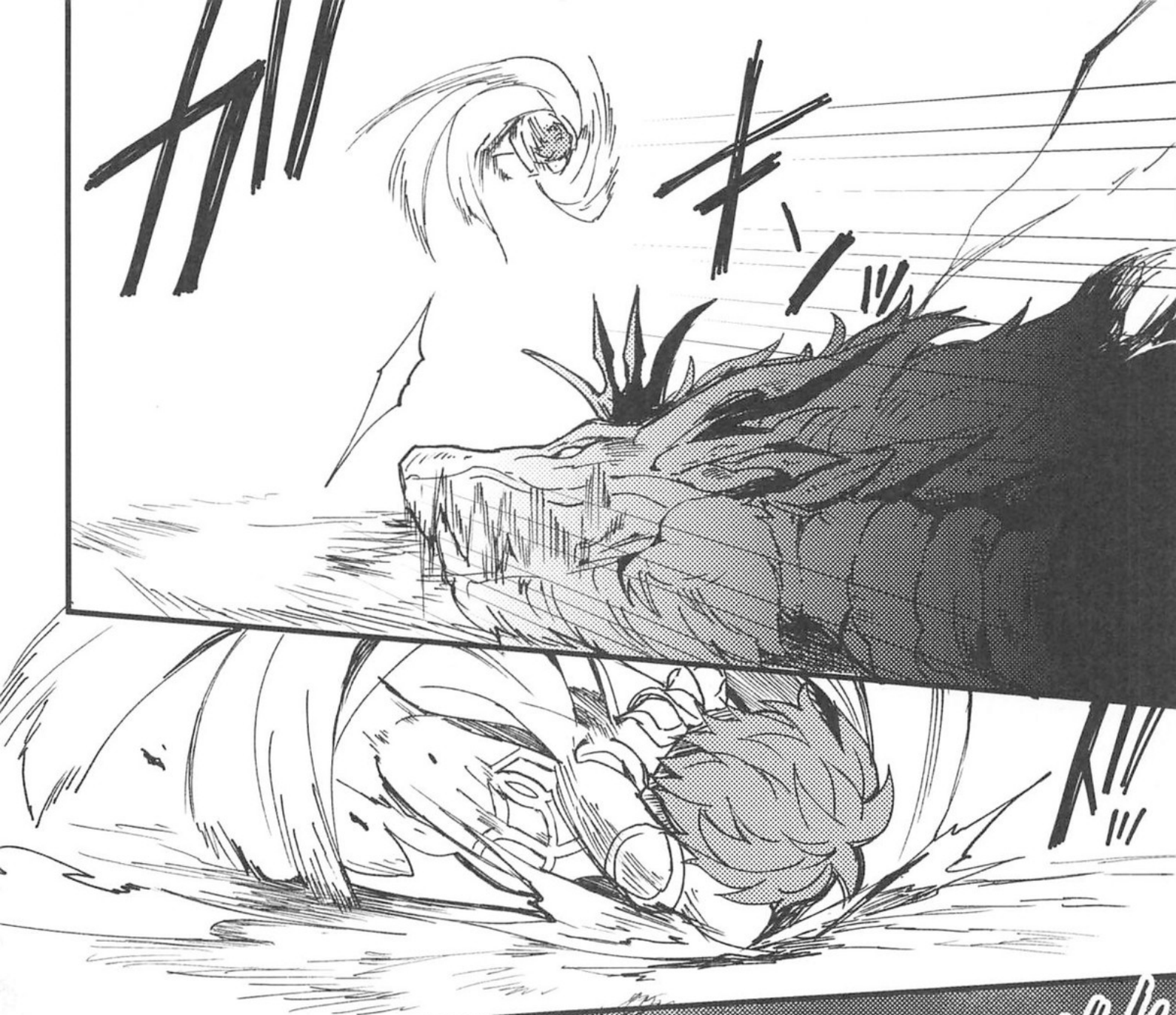
団長!





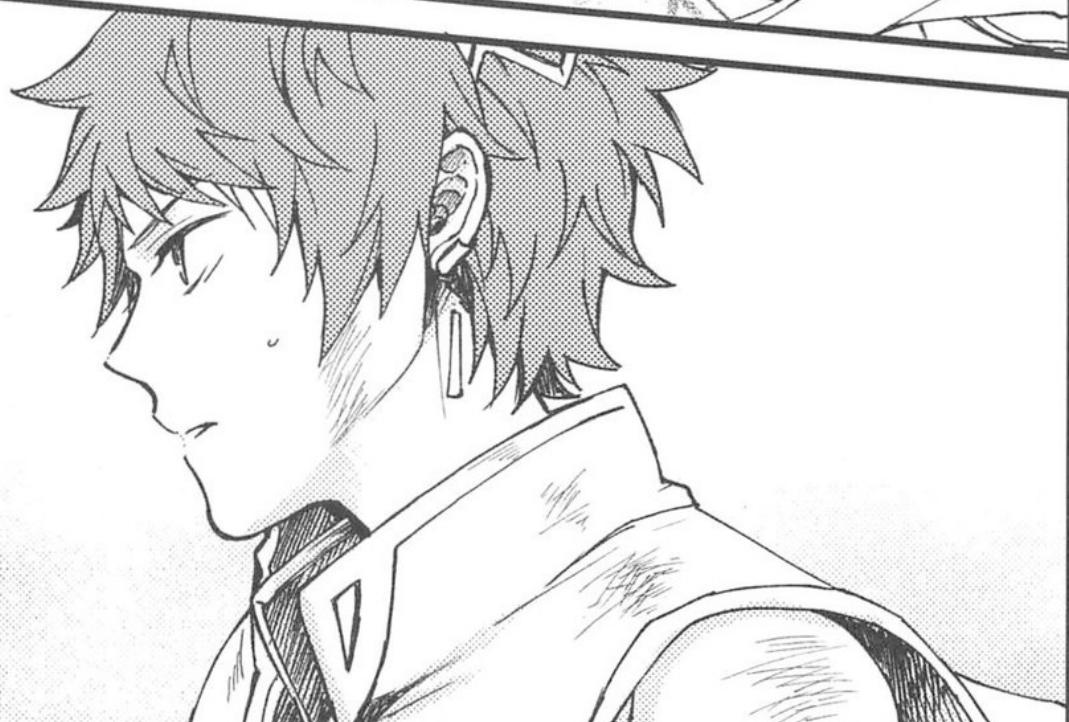
...

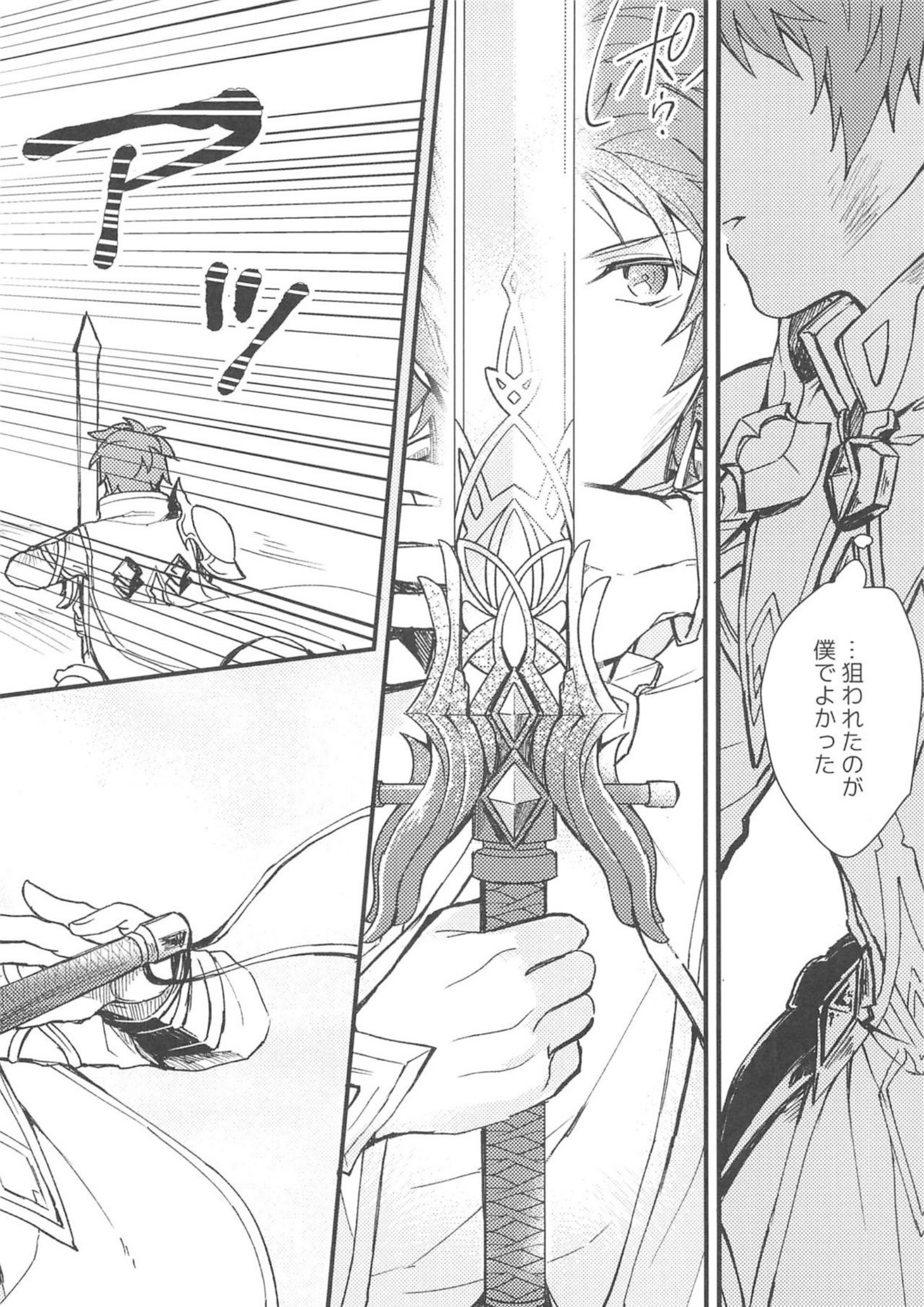
の
っ





……バジリスクか……





狙われたのが
僕でよかった

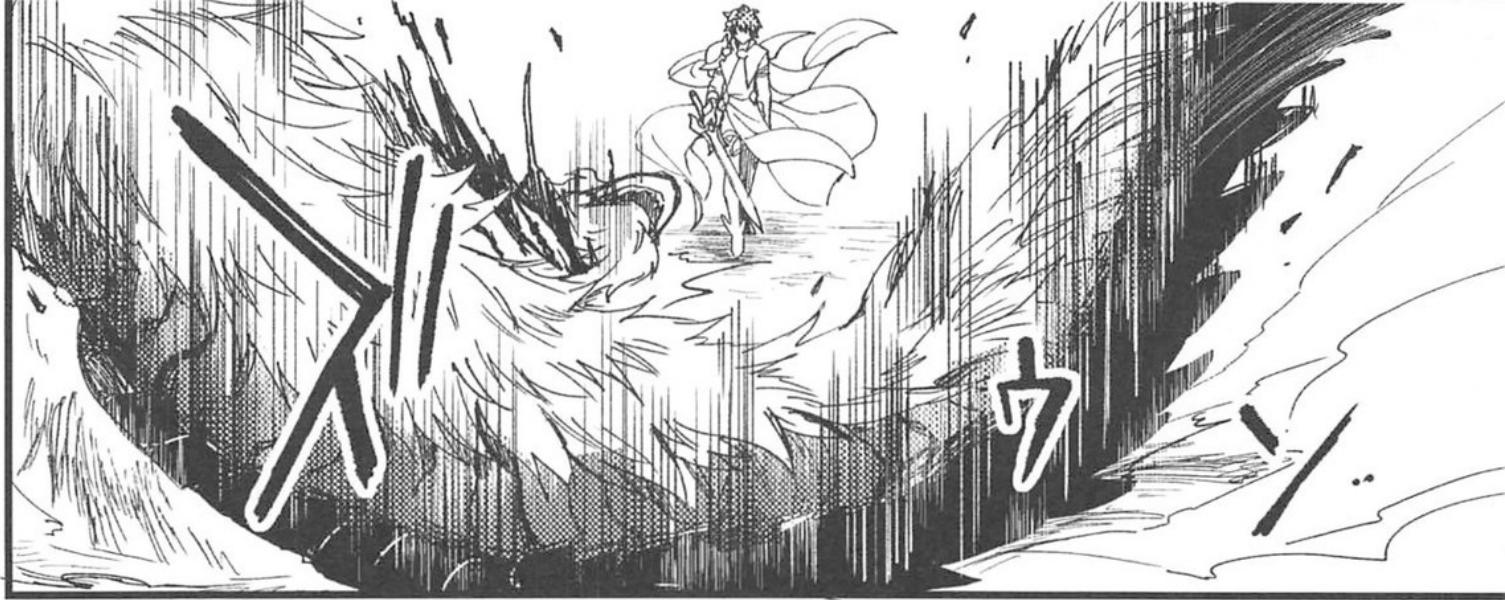




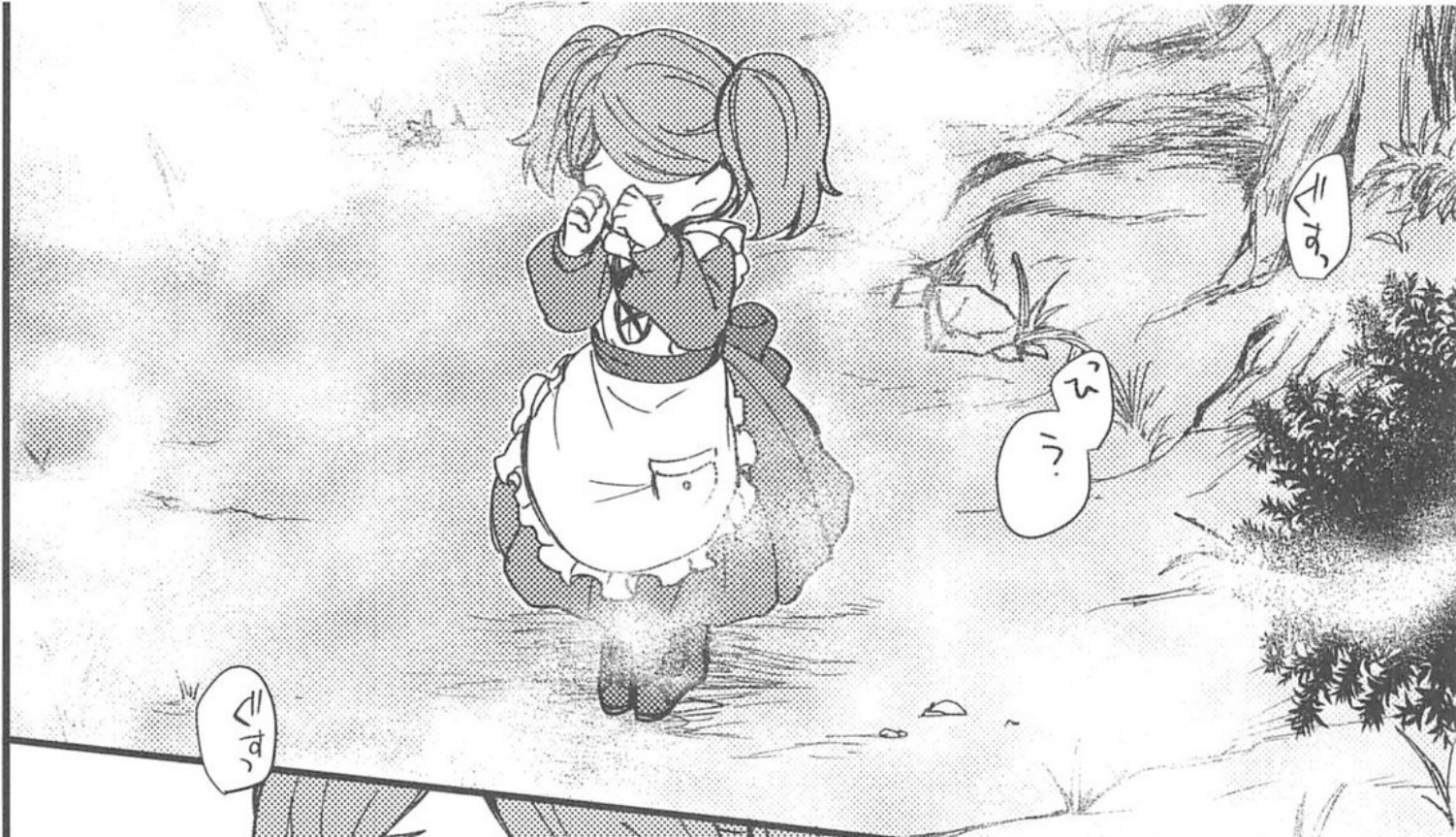


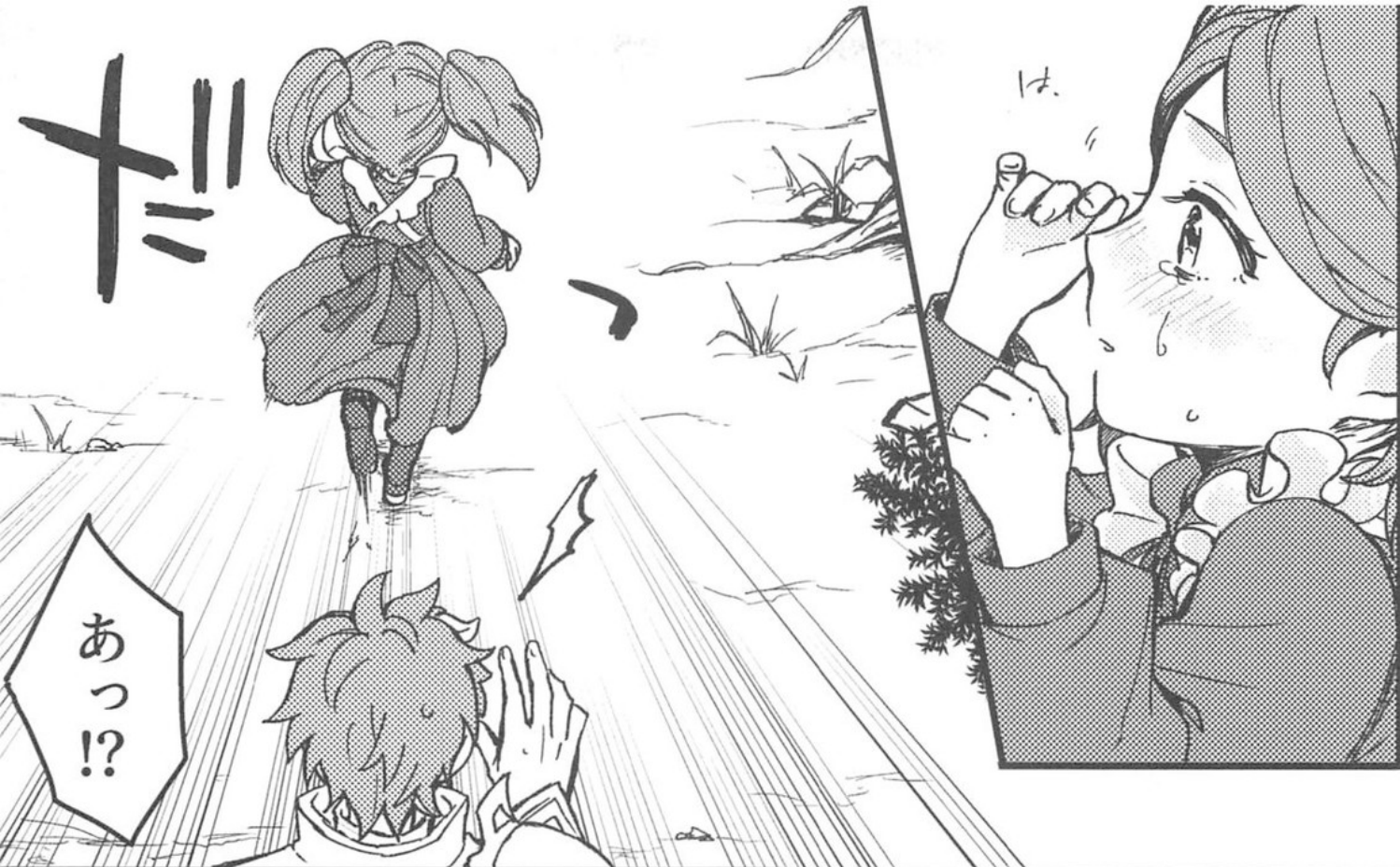


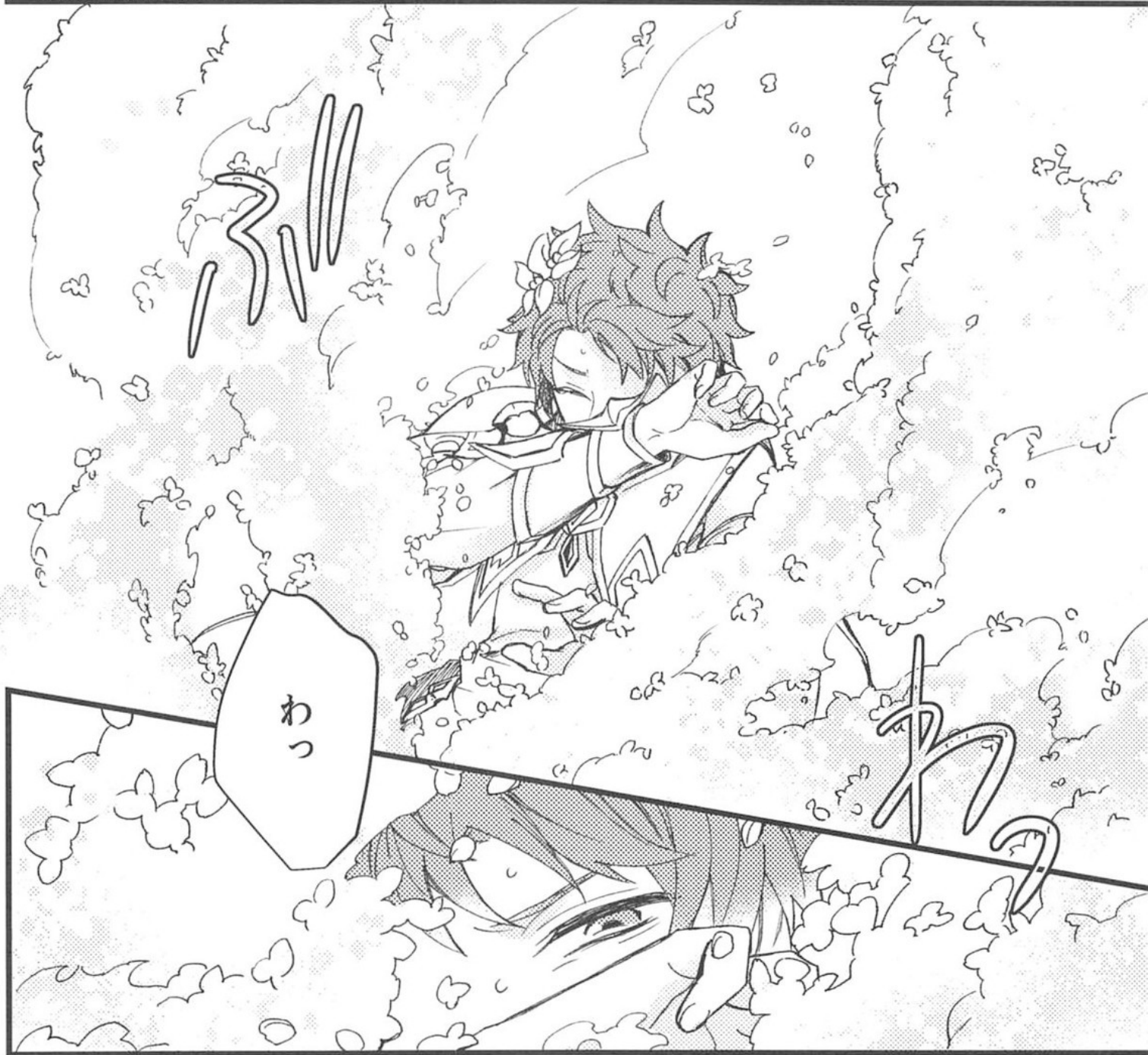










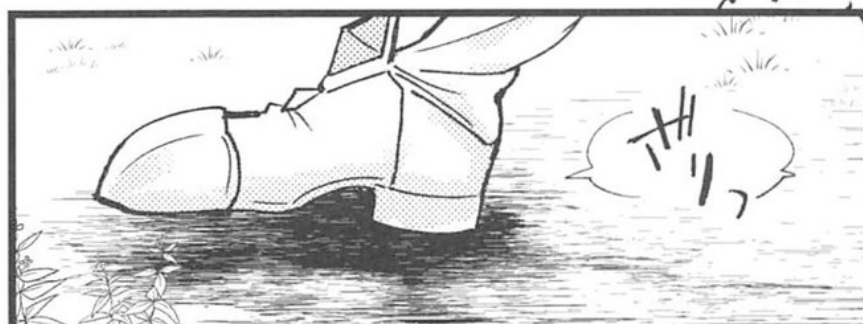




この森の中に
こんな場所が
あったんだ

…何か見てほしい
物でもあるのかな

サッ
ッ





パーシヴァル……!!



それよりも
怪我はないか？
団長

周囲を警戒している
者の背後から近づいた
俺の方が悪い

いや

ごめん
魔物か
何かかと...



日暮れが
近いからな
先に街へ
戻らせた

うん
大丈夫
他の
みんなは...？



いつの間に
そんな時間が

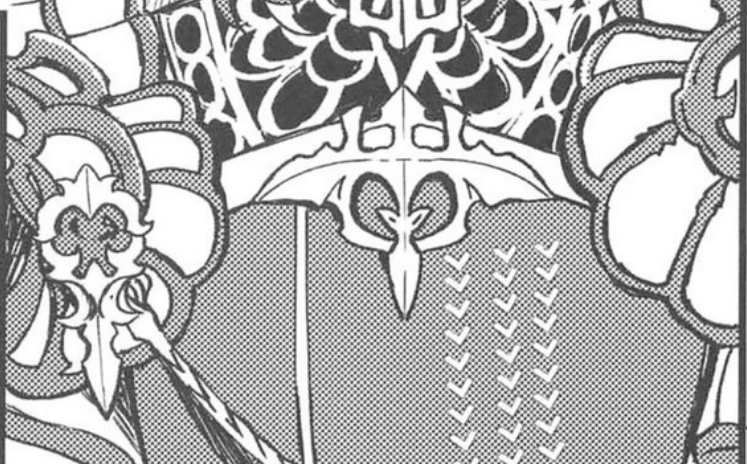


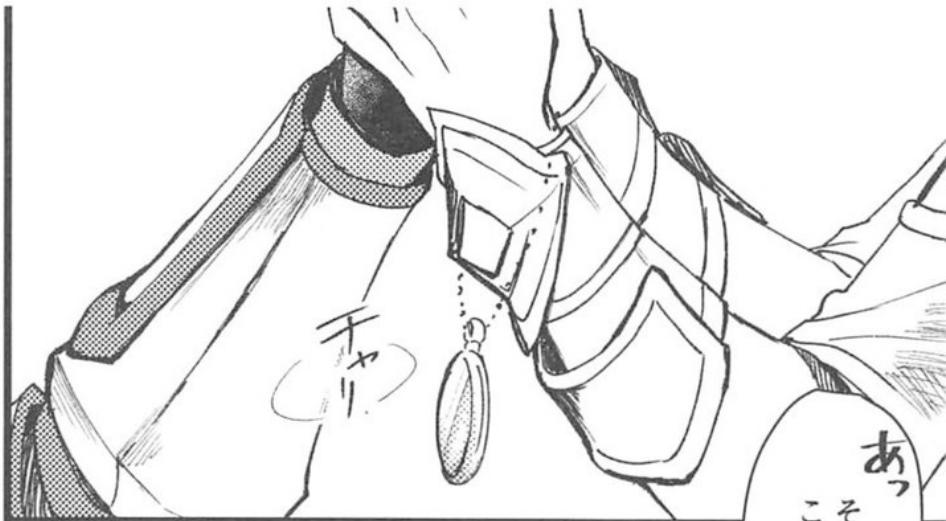
...あ
本当だ...
日が落ちて
きてる...



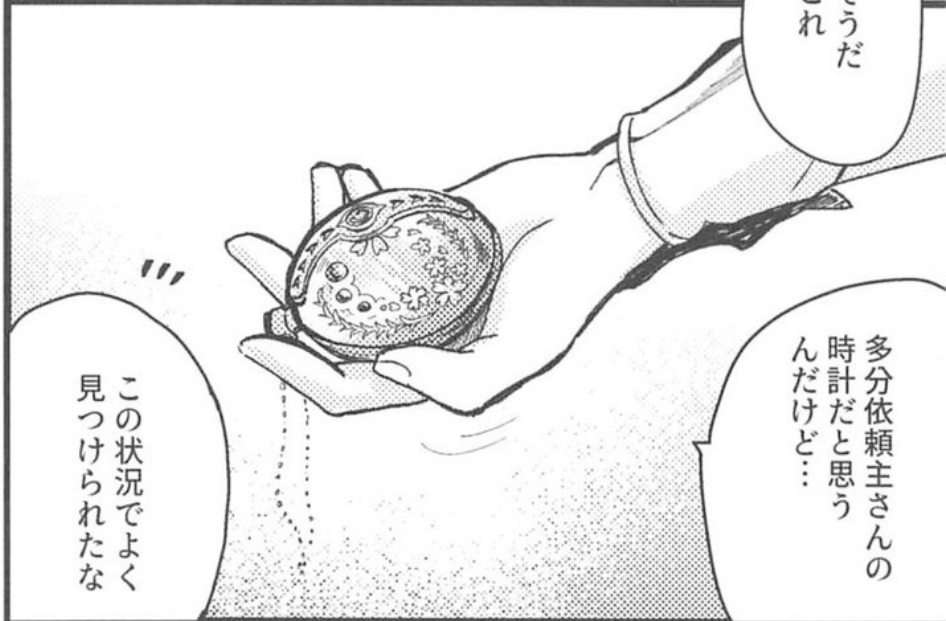
はっ

えっ





あ
そうだ
これ



多分依頼主さんの
時計だと思っ
ただけど…

この状況でよく
見つけられたな



僕に襲い掛かってきた
バジリスクの牙に
引っかかってたんだ

すごい
偶然だね？



：お前という奴は
運が良いのか
悪いのか…

信じられん事が
平気で起こるな



たはは…

ここに辿り着いたのも
実は不思議な事が
起こったからなんだけどね…



ここって
何か意味のある
建物だったのかな？

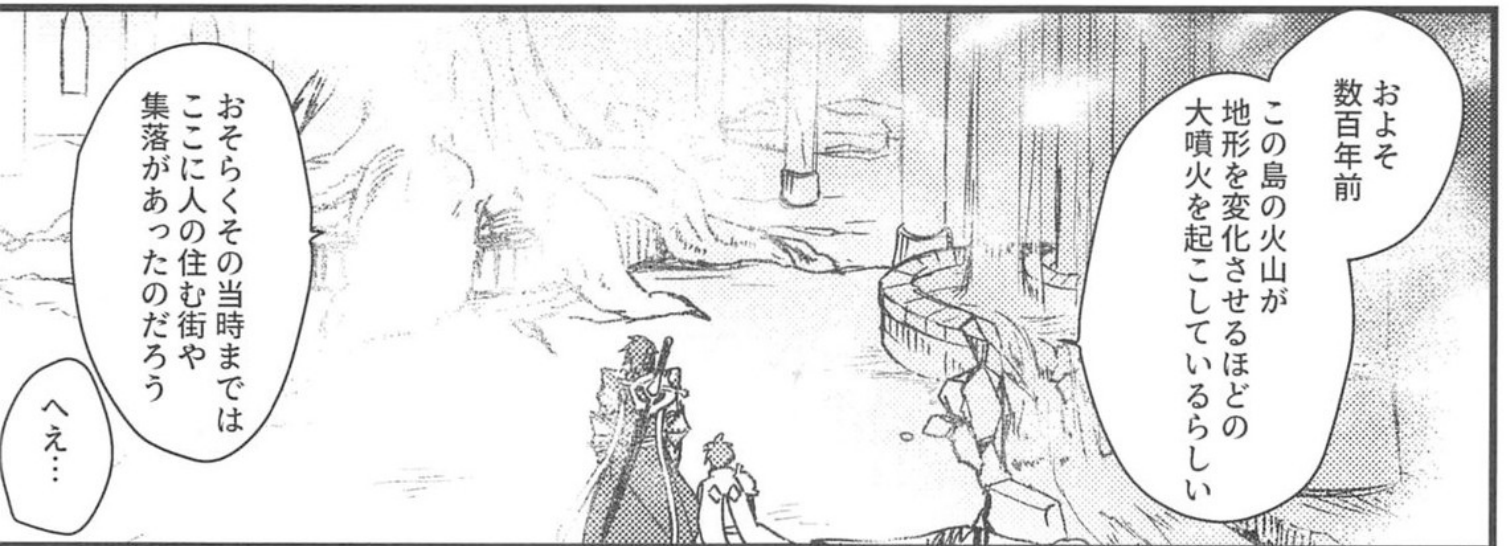


街の文献で
かいつまんだ
程度だが



こんな
ところに？

意匠を見る限り
教会の類だろう



およそ
数百年前

この島の火山が
地形を変化させるほどの
大噴火を起こしているらしい

おそらくその当時までは
ここに人の住む街や
集落があったのだろう

へえ…



団長



それに

ここならば
ある程度
雨風は凌げるだろう



…幸いにも
飲み水の確保が
出来そうだな…



食料ならば
ルリア達から
菓子や果物を
譲り受けてきた

少しは腹の
足しになるだろう

えっ

用意いいね

礼や称賛は
ルリア達に
取っておけ

日付を跨ぐ
可能性を伝えたら

二人とも
おなかが空いて
動けなくなってしまうたら
どうするんですか！

…と

そうだったんだ
戻ったら
お礼しなきゃだね

ああ
とびきりの褒美を
とらせてやろう



うん
分かった
任せて



さて

俺は火を起こす
準備をしてくる



団長には
水汲みを頼みたい
いいか？



？



すっかり
忘れてた…

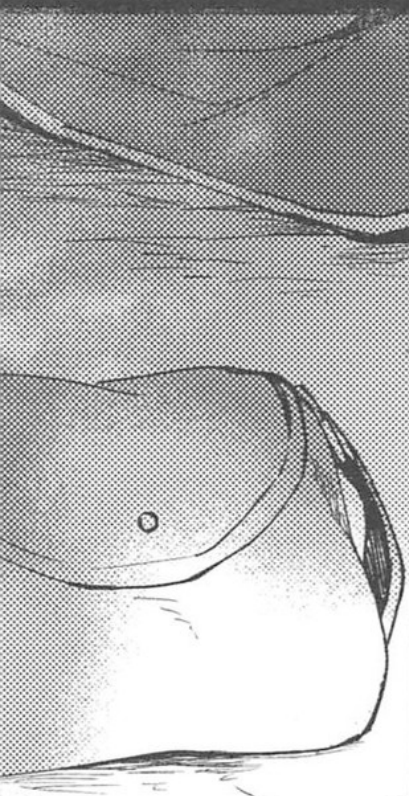
あっ！

そうだ



ついでに
顔や腕を
洗ってくるとい

泥汚れが
ひどいぞ





——暗くなったのも
あるだろうけど

この辺りは
やけに静かだね



魔物が出ても
おかしくないのに…

結界か何か
張られてたり
するのかな

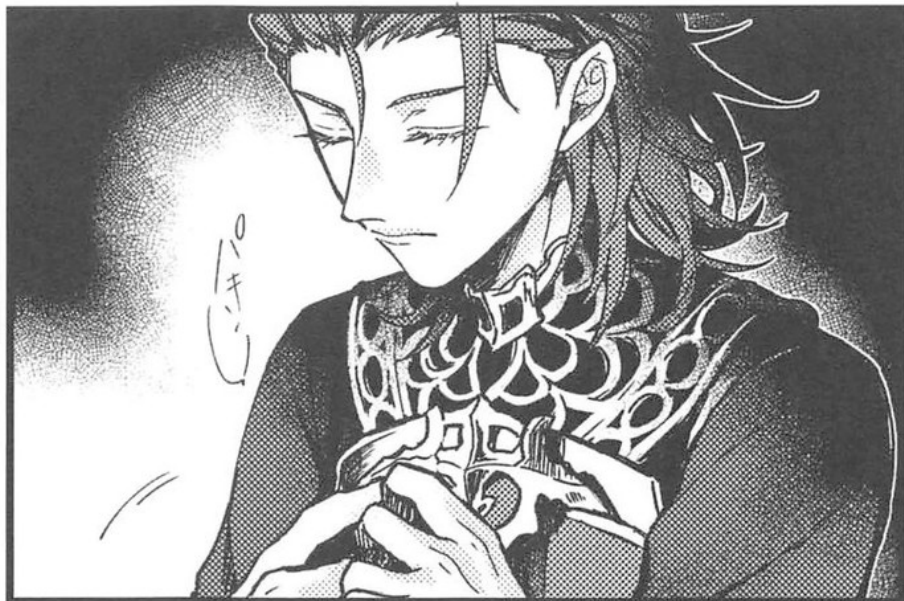


うん

ああ

薪集めの時から
思ってたが
生き物の気配が
全くしないな





少々煩わしい
だろうが

風邪を引くよりは
良いだろう



パーシヴァルは
寒くないの？

俺はこの火で
十分だ

遠慮は
しなくていい

……
ありがとう……



……
(ぎゅ)

ぽん

パーシヴァルに
抱きしめられてる
みたいだ……





—この教会でも
礼拝とか結婚式とか
やってたりしたのかな



大きな自然災害が起きても
こうしてこの建物だけが
現存しているという事は

当時の技術の
粋を集めて建設された
代物なのだろう

少なからず
何かしらの思い入れや
願いを籠めていたはずだ

…きつと

多くの者に救いや
憩いを与えていたの
ではないかと
俺は思う

…ただの
希望的観測に
過ぎないがな





魔物との戦闘も
あって疲れている
だろう

あまり
休まらないだろうが
横になるといい

えっ

大丈夫だよ

火の番もあるし
起きてられるよ

引き続き
毛布が枕代わりに
使え

っ
っ

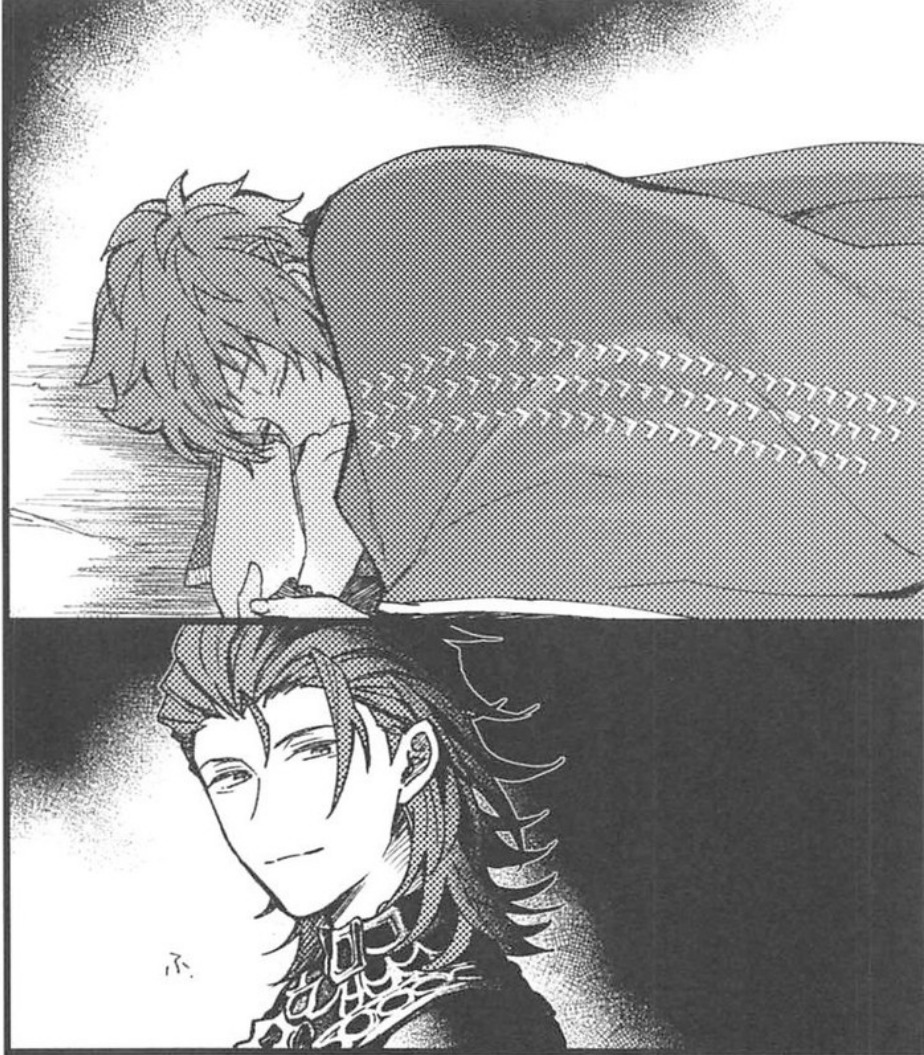
…いや

俺がそうして
やりたいんだ

駄目か？

ずる







団長



…いかな
寝てしまった



あ

あ

おはよう
パーシヴァル

…ああ
おはよう

この木も

花が咲いてたとは思ってなかったから

起きた時
てっきり違う世界に
来ちゃったのかと思

ね
びっくり

昨日がまるで
嘘のように
霧が晴れたな

そう勘違いして
しまうほど
実に見事だな

うん

本当に綺麗だ

この花を見たら

依頼主さんの
時計もそうだけど

街に花をモチーフにした
物が沢山溢れていたのも

すごく
納得がいった



ここは多分

昔の人達
だけじゃなくて

きっと今でも



多くの人達に
救いや憩いを与えて
くれてるんだらうね



多くの人達に
救いや想いを与えて
くれてるんだらうね

きっと今でも



ここは多分
昔の人達
だけじゃなくて





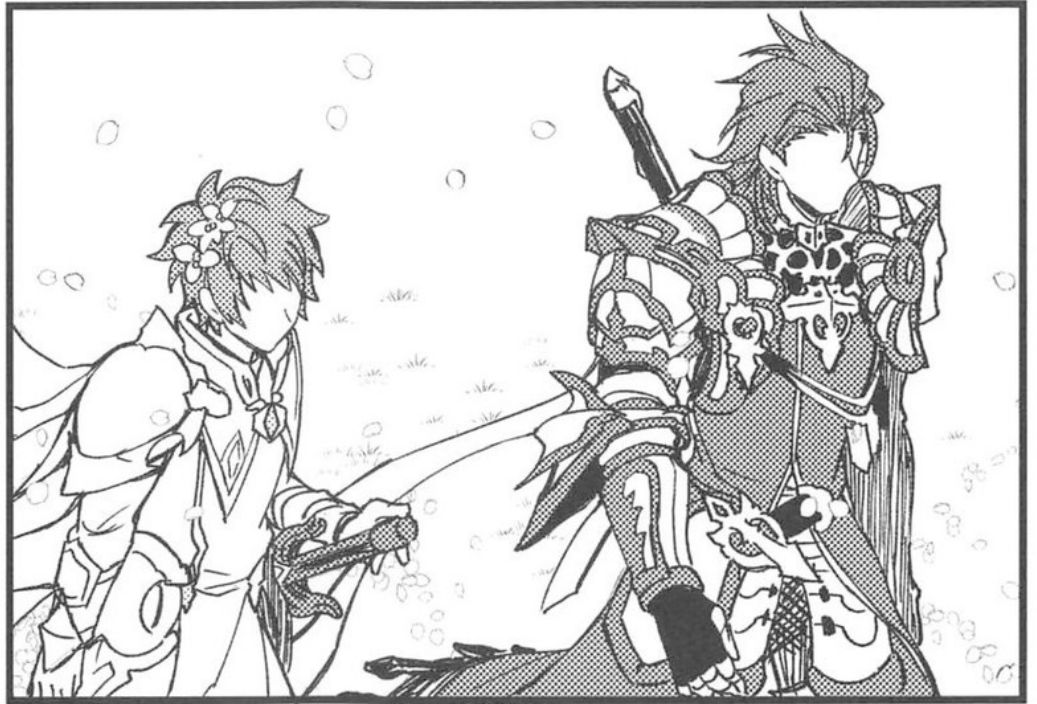
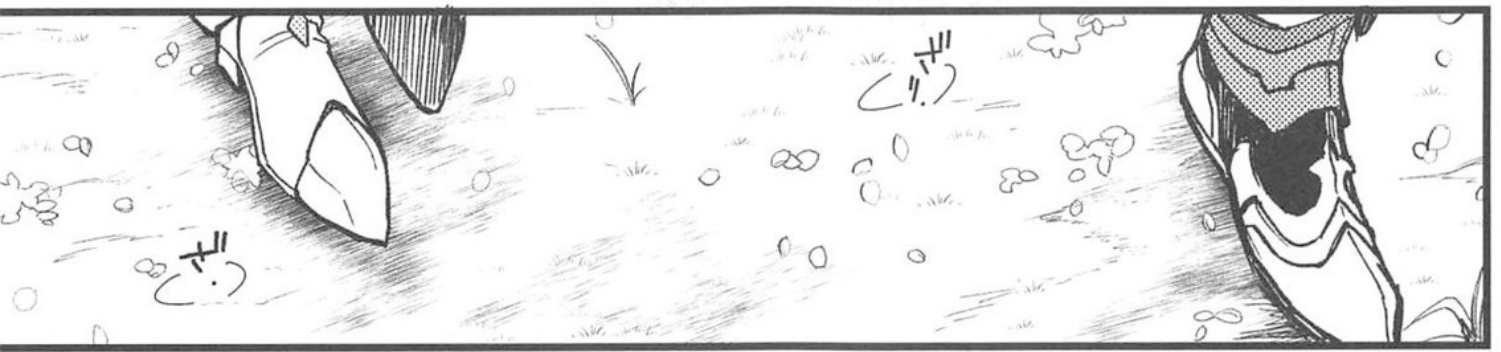
それじゃあ早く
みんなの所に
戻ろうか

パーシヴァル

…ああ
そうだな

鎧着けるの
手伝うよ

恩に着



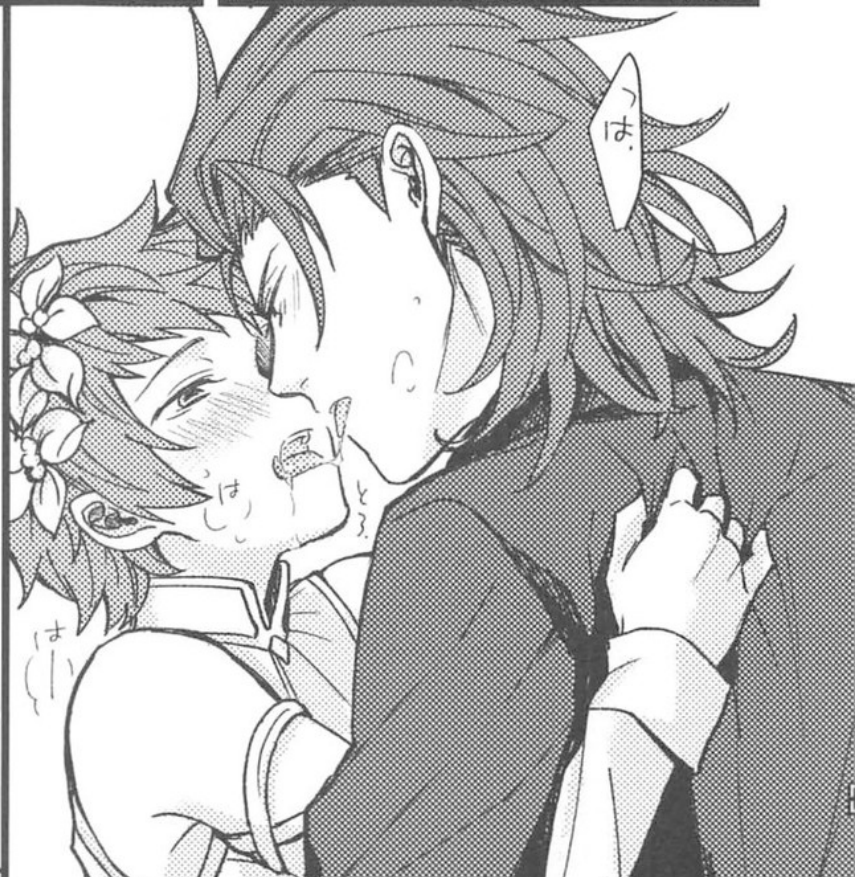














移動するか？

……
ここで平気？

の……！



っ、あ



ん

ふる

ふる



……この場を
目にしているのは
お互いだけだ

ひく



あまり行儀
よくないでしょ

そんな
余裕ない

パーシヴァルが
抵抗あるかな
って思っただけ……









グラン
気をつけろ



あまり上へ
いこうとするな



はあ...

あ...っ!









今日は色々
ありがとう

ご褒美

これは
光栄だな

だが

お前のためならば
造作もない事だ



す
よ...

は
あ...

ぐっすり
ですね！



このまま
寝かしといて
やろうぜ

ですね！

約束してた時間に
起きてこねえって事は
二人とも相当
疲れてたみてえだな



えっ

団長さん
あの森の遺跡に
行ったんですか!?

どうして僕に
声を掛けてくれ
なかったんです!?





行ったのは本当に偶然だったし遺跡があるなんて知らなかったから…

あと言われてなかったし…

必要ならちゃんと
言っ

ビィ

僕に対して
あたりが強い…



以前とある国の調査隊と一緒に
搜索に向かった事が
一度だけ

ヨハンは
あの遺跡の事
知ってるんだ？

はい

けれど霧が晴れた日に
くまなく探したのに
見つけられ
なかったんですよ



えっ

ですが団長さんだけでなく
一部の街の方達もその
遺跡に辿り着いた事が

—正確には
迷い込んでしまった事が
あるそうなので

それが現実、
はたまた
幻だったにせよ

あの森には
不思議な事象が存在
しているみたいです

…それって今回
戻ってこられて
良かったみたいな話…？

とんでもない！

そう思ってしまう
かもしれませんが

実は
あの遺跡

街の人達からは
祝福や真実を与え
る象徴だと言われて
いるんですよ

なんでも…
遺跡に迷い
込んでしまった者を

その逸話のおかげで
縁結びのご利益があると
伝わっているみたいです

…そうなんだ

真に想う者だけが
迎えに行く事が出来る

…とか
なんとか

はい！
ですから

あー
団長さん
きたきた！

あー



おうよ!

ばっちり
だぜ!

お待たせ
どこ行くか
決まった?



好きなだけ
食べたり飲んだり
買ったりしよっか

よし
それじゃあ
じゃんじゃん行こう



わーい!

団長さん
バーシヴァルさん
ありがとう!

ヨハンも
来たら?

いいん
ですか?

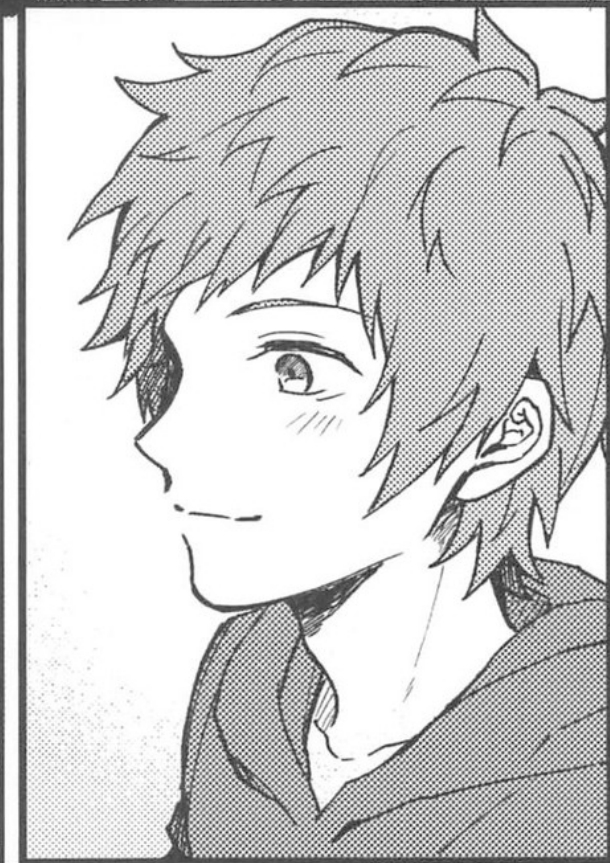
太っ腹だな!

もちろん



買い置きも
遠慮なくするとい

!!!



僕も好きだよ
パーシヴァル



あっ
ほら僕達も行こう！
置いていかれちゃう

…ああ

おっ
今日も
晴れてるぜ！

ふふ
お出かけ日和
ですね！

ご拝読ありがとうございました！

こんにちは、すまと申します。
この度は本をお手に取ってくださいますありがとうございます。
『結婚』がテーマでした。
今回も好き勝手楽しく描きました。
パーグラ末永くお幸せに…
(メ切ぎりぎり奴の精一杯のあとがき)

「雨が祝福の音を降らせる時」
令和元年 五月三日
Plan-S/すま
<http://sumaoji.tumblr.com/>

THANKS：トム出版様

※無断転載・転売およびオークションやフリマアプリなどへの出品を禁じます。

■メッセージフォーム■



一言だけでもとてもうれしいです。

20190503 Plan-S

